

# 平成30年度 基本方針

当協会は、岐阜県におけるバレーボールチームを統括し代表する団体として、社会的な責任を果たすため、合理性、先見性、透明性を確保しながらチャレンジ精神を忘れずに協会運営を行ないます。

近年、社会環境が急激に変化する中で、所属チーム、バレーボール愛好者と一緒にバレーボール競技の普及、振興及び発展を図ります。

## I 長期計画（2020年構想）

2020東京オリンピック・パラリンピックを成功させるため、岐阜県出身の選手育成・支援に努め、岐阜県ゆかりの選手2名以上の出場を目指します。

岐阜県バレーボール協会への登録者数12,000人を目指します。

## II 普及

全日本バレーボールチームの活躍が期待される中でバレーボール人気の低迷がはつきりと表れてきている今、県内Vリーグチームや、全国大会に出場するチームと一緒に、バレーボール教室を開催するなど様々なイベント企画を通じてバレーボール競技人口の拡大を図ります。

## III 育成

競技を継続的に続けていくためには、審判員を中心とした各種資格取得が重要な課題となっています。希望者の資格取得に向け、講習会・研修会を開催します。

審判員については、Vリーグや全国大会の運営をスムーズに行うために、計画的に全国大会や東海大会へ派遣したり、各種研修会に派遣するなどして養成します。

指導者や選手について、各種別と各委員会との連携を綿密に取り合い、指導者技術の向上、選手の強化育成を図ります。

## IV 強化

国民体育大会では、昨年、東海予選を2種別が突破いたしました。今年は、一步上を目指し3種別が突破するように競技力向上対策委員会を始め総力を上げて、代表チームの強化を図ります。

昨年は、岐阜県開催全国大会での県代表チームが優勝しました。今年も各種全国大会への代表チームを推薦し、上位入賞を目指します。

## V 組織

協会組織については、ボランティア活動の中でいかに組織としての体制を維持していくかが課題となっています。まずは今一度、各委員会の体制を見直し検証し、委員会組織の充実を図ります。

組織を健全に維持していくためには予算の計画的な執行が必要不可欠です。会計処理については、明確化、適正化、迅速化を常に意識して執行します。

## VI その他

体罰や暴力については、新たな時代の流れの中で、今一度、従来からの古い考え方を改め、各チーム内の指導者での話し合いを行うなどして、一切の根絶に努めます。

今年、昭和23年に協会が創立されて70周年を迎える年となります。これを記念して、記念行事の開催、記念誌の発行を行います。